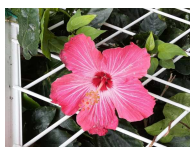


『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(6月20日)(第4号)



成功するには3つのション

今週末はいよいよ文化祭です。沖高の卒業生の方々がよく口にされます。「沖高の発展なくして沖永良部の発展なし」。沖高の文化祭の質を向上させることが、沖永良部の文化の発展に貢献すると私も思います。体育祭と同様に、ぜひ学校全体で一致団結して成功させましょう。物事を成功させるためには、3つのションが必要だと本で読んだことがあります。Mission(使命・目的)、Passion(情熱)、Communication(意思疎通)です。クラスや部活動、所属する団体でテーマや出し物を決めて、その目標達成のために、熱い情熱を持って、仲間同士がしっかり連携し合っていくことが成功の鍵になると思います。さらに、連携とは仲間だけでなく、当日の観客とのコミュニケーションも大切になってきます。仲間と協力して創意工夫を凝らし、当日は感動を巻き起こしてください。期待しています。

「合格体験記」より

私は「自分には日本中に46万人のライバルがいる」と思い、頑張っていました。島では大学受験は少数派ですが、実際はたくさん的高校生が合格に向けて日夜頑張っています。電車の中で単語帳をめくっていたり、夜遅くに塾から出てくる受験生らしき高校生の姿をよく見かけます。

3年生の方々はこれから、1年くらい頑張るなさいとか、人生を決める1年とか言われると思いますが、同時に高校生活最後で、島で子供として過ごす最後で、友達と思い出作りができる最後の1年でもあります。後悔や悩みのない1年にすることは難しいですが、応援している人、力になりたいと思っている人はたくさんいるので、困ったときは先生や先輩に相談してみてください。楽しみながら、少しずつ確実に進めるように頑張ってください。応援しています。(福岡教育大学教育学部合格 吉田 陽向 さん)

6月11日 朝課外スタート



朝から本降りの雨でしたが、11日(火)より本年度の「希望制・講座制」の朝課外がスタートしました。体育祭の代休の翌日で、また台風のように風雨の激しい朝でしたので、生徒の参加を心配しましたが、「希望制」ということもあり、意欲の高い生徒の皆さんが予定通り参加していました。

1日目は、「評論の書き方(1年対象、2・3年可)」、「ラジオ英会話(全学年対象)」、「化学応用(3年理系)」の3つの講座でした。講座はAからHまでのサイクルで回しますが、授業とは異った内容の講座もあり、タイトルだけ見ても興味をかき立てられるものがあります。朝課外をきっかけに苦手分野を克服したり、得意分野を伸ばしたりすることで、授業への理解が深まることを期待しています。まずは「継続は力なり」です。結果だけを求めることなく、楽しみながら受講してください。

第72回 体育祭



6月9日(日)第72回体育祭が予定通り実施されました。朝はまだ小雨が降っていましたが、グラウンド整備のために開始を30分遅らせてスタートしましたが、ご来賓をはじめ、保護者・地域の方々など多くの観客の皆様にご来場いただきました。

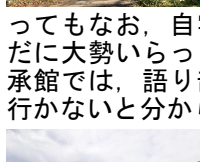
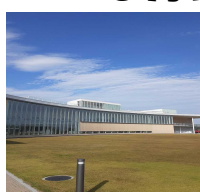
沖高の体育祭は、運動が苦手な人にも楽しんで参加してもらえるように、他の学校にはない種目(フライングゲット、ネットネット、ロープジャンプ、グランドゴルフ等)が多くあり、見ている人も楽しませてくれます。圧巻は、1・2年生全員による「エイサー」です。沖永良部島の伝統芸能を生徒全員で引き継ぐことができ、本当に素晴らしいと思います。また、本年度は、職場対抗リレーにも、両町役場や消防署、自衛隊、中学校等、17チームに特色あるコスチュームでご参加いただき、体育祭を盛り上げていただきました。

競技の部、応援の部、共に3年生が貫禄を見せて優勝しましたが、種目によっては1・2年生が

活躍する場面も多くあり、来年度が大変楽しみになりました。

朝のグラウンド整備から最後の片付けまで、労を厭わず献身的に取り組む生徒と先生方を見て、本当に素晴らしい学校だと再認識しました。皆さん本当にご苦労様でした。

6月17日 全校朝会



梅雨に入り連日雨が続き、土砂災害等の発生が懸念されることから、17日(月)の全校朝会では、災害への対応について考えてもらいました。私は昨年度、全国普通科校長会の福島大会に参加した際に「東日本大震災・原子力災害伝承館」と遺構となっている「浪江町立請戸小学校」を訪問していましたので、主に地震について話をさせていただきました。車で郡山市から双葉町に入り、伝承館に向かいましたが、一番驚いたのが、「帰宅困難区域につき通行制限中です」と書かれた看板と、家の周りに張り巡らされた立ち入り禁止の柵でした。震災が発生して13年経ってもなお、自宅に帰りたくても帰れない方々が未だに大勢いらっしゃることに衝撃を受けました。伝承館では、語り部の方の話も聞きましたが、実際に行かないと分からないことばかりでした。

復興はまだ道半ばであることを実感し、それでも福島県民の方々が、前を向いて力強く復興に向けて努力されていることも知りました。短い時間だったので、生徒の皆さんにどれだけ伝わったか分かりませんが、「何事も自分の目で確かめること」「自分でリスクマネジメントを行うこと」「未来の地球のために今できることを行うこと」等を強調したつもりです。改めて考えてみてください。